

**問題1** 次の文章を読んで、後の設問に答えなさい。（配点50点）

（注）著作権法等の配慮により問題文は割愛します。  
なお、問題文は、次の文献から引用しております。

- ・猪木武徳『自由の思想史～市場とデモクラシーは擁護できるか』（新潮選書、2016年）  
21-28頁より、一部改変のうえ、抜粋した。）

**【設問 1】**

下線部\*において、筆者のいう、「なんとか切り抜ける」(muddling through)ための時間と忍耐が求められる、とは何を意味するのか100字以内で述べなさい。（25点）

**【設問 2】**

すべての人に等しく自由を認めることを「平等」と考えた場合、それでも筆者が平等を徹底するうちに自由が浸食されるとか、自由と平等の相克などというのはなぜか。筆者の言葉を使って100字以内で述べなさい。（25点）

**問題2** 次の文章を読んで、後の設問に答えなさい。（配点50点）

（注）著作権法等の配慮により問題文は割愛します。  
なお、問題文は、次の文献から引用しております。

- ・児玉聡「功利主義と臓器移植」伊勢田哲治＝樫則章『生命倫理学と功利主義』（ナカニシヤ出版、2006年）170-188頁より、一部改変のうえ、抜粋した。

**【設問 1】**

外科医やサバイバル・ロッタリーの事例を用いた功利主義に対する批判について、功利主義者からの反論を600字以内で整理しなさい。（25点）

**【設問 2】**

ハリスが主張する死後の強制的臓器提供という政策について、その内容を説明するとともに、功利主義の立場を踏まえて争点を設定し、自らの見解を600字以内で論じなさい。（25点）